

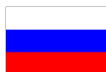
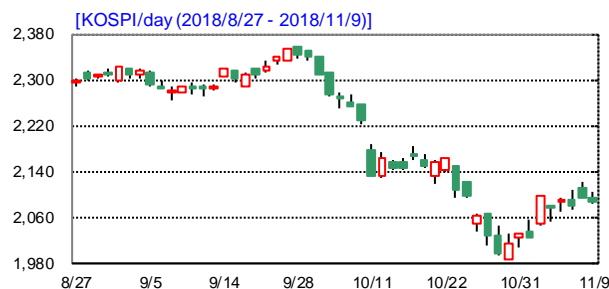


【韓国】 総合指数は週間で0.5%安と小幅に反落、今週は様子見気分強い

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で0.5%安と小幅に反落した。週を通じて一進一退の相場が続いた。米中間選挙や米株相場、米アップルの新型「iPhone」の販売状況などを手掛かりに主力株が売買されたが、全体の方向感乏しかった。米FOMCを受けてFRBが12月に追加利上げに踏み切る確率が高まり、投資家心理を冷やした。米務省が7日、翌日にニューヨークで開く予定だったポンペオ米務長官と北朝鮮高官との会談の延期を発表したことで、失望売りを誘った面もあった。個別では、不正会計疑惑が浮上したサムスン・バイオロジクスや中国の新車販売が落ち込んだ現代自動車の下落が目立った。今週は様子見気分が強まるか。米中首脳会談を月末に控え、両国間の貿易摩擦の不透明感がリスクを取りづらくしそうだ。

▼指数チャート

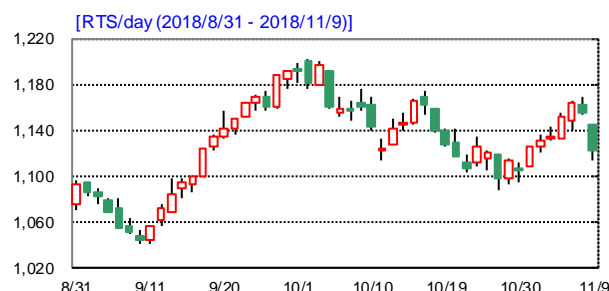


【ロシア】 RTS 指数は週間で1.2%安と反落、今週は原油安が引き続き重しか

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で1.2%安と反落。原油安や通貨ルーブル安を受けて週末に急落した。先週は5日が民族統一の日の祝日で4日間の取引。3連休明けの6日は米中間選挙を前に1.4%高でスタートすると、7日は1.1%高と続伸。ただ、8日に0.8%安と6営業日ぶりに反落し、週末の9日は原油相場的大幅続落が嫌気されたほか、米ドル高を背景にルーブルが6週ぶりの安値に落ち込み、資金流出懸念が高まったことも株式相場の重しとなった。RTS 指数は前日比で2.9%安と大幅に続落し、週の取引を終えている。個別では好決算を発表したVTB銀行が4.0%高となった一方、アナリストの目標株価引き下げが嫌気されたアエロフロート・ロシア航空が6.5%安と沈んだ。今週は原油安や資金流出懸念が引き続き重しとなるか。

▼指数チャート

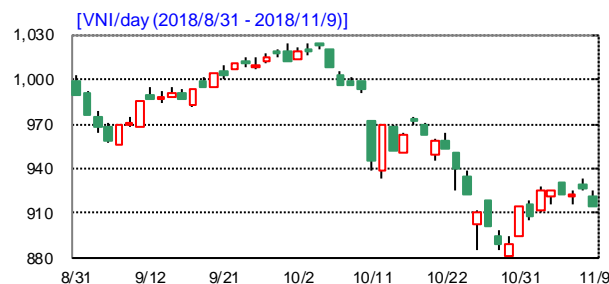


【ベトナム】 ベトナム指数は週間で1.1%安と反落、今週も資金流出懸念が重しか

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で1.1%安と反落。米中間選挙をにらんで週初からもみ合いが続いたが、FOMCの結果を受けて米12月利上げ確率が一段と高まり、新興国からの資金流出懸念が広がった。米中間選挙を控え週初は小幅なレンジでもみ合い、8日は選挙結果を受けた世界的なリスクオフの流れでVN指数も0.4%高。一方、FOMCでは予想通り政策金利が据え置かれたものの、タカ派的な声明文を受けて米金利先高観が強まり、9日は1.3%安となった。個別では時価総額の大きい不動産のビンホームズが5.6%高と大幅に上昇した一方、エネルギーのペトロベトナム・ガスが7.5%安、ベトナム石油総社が5.2%安、金融のベトナム外商銀行が3.4%安となり、指数を押し下げた。今週も米金利先高観を背景に資金流出懸念が重しか。

▼指数チャート

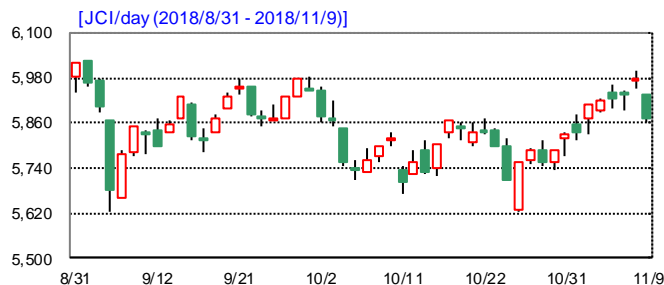


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 0.5%安、7-9月の GDP は市場予想とほぼ一致

ジャカルタ総合指数は週間で 0.5%安と反落。週末の反落が響いた。週初の5日は7-9月期の GDP が前年同期比 5.2%増と市場予想とほぼ一致したことを受け、金融株の一角が指数上昇をけん引。その後もじりじりと上値を広げ、8日には終値で約2カ月ぶりの高値を更新したが、9日は前日まで2日間の日程で開催されていた米 FOMC で、12月に今年4回目の利上げを実施する公算が強まったことが嫌気され、指数は前日比 1.7%安と9営業日ぶりに反落して引けた。今週は15日に10月の貿易統計が発表されるほか、中央銀行が定例会合を開催する予定で、政策金利は 5.75%に据え置かれるとの見方が優勢。

▼指数チャート

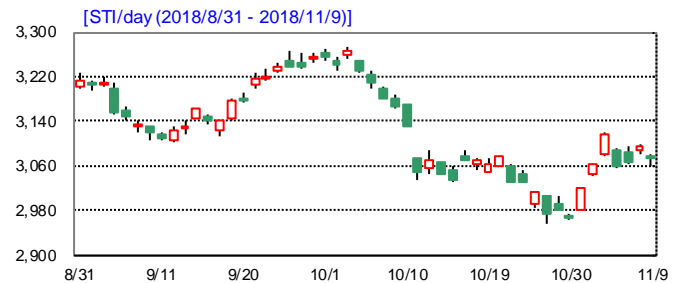


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】スレーツタイムズ指数は 1.2%安、今週は 10月の非石油地場輸出に期待

スレーツタイムズ指数は4日間の取引で 1.2%安と反落。週初の下落が痛手だった。5日は好調に推移した前週の反動に加え、銀行最大手の DBS グループが発表した7-9月期の純利益が市場予想を小幅ながら下回ったことが嫌気され、指数は終値で前営業日比 1.8%安と4日ぶりに反落。一方、祝日を挟んだ7日に反発すると、8日は前日の NY ダウが中間選挙を終えた安心感で大幅上昇したことに加え、中国の10月の輸出額が市場予想から上振れた効果で続伸した。ただ、勢いは続かず9日は反落して取引を終えた。今週は12日の9月の小売売上高に続き、16日には10月の非石油地場輸出が発表される予定。

▼指数チャート

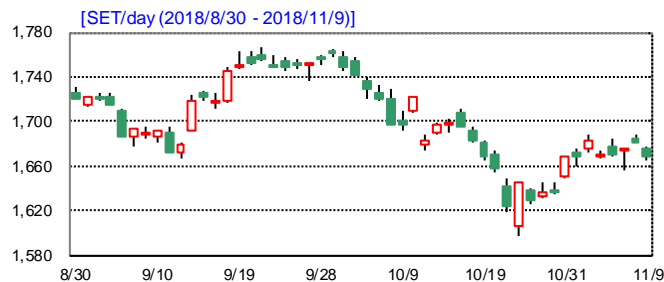


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.8%安、今週は中央銀行が金融政策決定会合を開催

SET 指数は週間で 0.8%安と反落。国内の重要イベントが少なく、原油価格の動向など外部要因に左右された。週初の5日は、前週末に発表された10月の米雇用統計が強い内容だったことを受けた12月の追加利上げ観測の高まりのほか、原油価格下落も嫌気されて反落。6日も続落したが、7日に買い戻されると8日はドバイ原油のスポット価格が反発した効果で続伸した。ただ、9日は前日の NY 原油価格が約8カ月ぶりの安値を更新した影響でエネルギー株が売られ、反落して引けている。今週は14日に中央銀行が定例の金融政策決定会合を開く予定。外部要因では原油の価格動向が引き続き焦点になる。

▼指数チャート

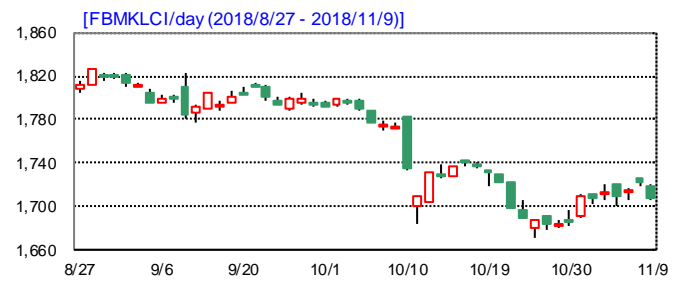


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.3%安、今週は 16日に7-9月期の GDP 発表

クアラルンプール総合指数は4日間の取引で 0.3%安と反落。週末の反落が指数を押し下げた。週初の5日は、前週末に発表された19年度政府予算案で、財政赤字が拡大する見通しとなったことが嫌気され反落。個別の銘柄では、税制改正案にカジノ税とライセンス料の引き上げが盛り込まれたことでゲンティン・マレーシアが売られた。祝日を挟んだ7日は、マレーシア・エアポートが指数上昇をけん引すると、8日は為替相場で米ドル安リング高が進んだ効果で続伸。一方、9日は米国の追加利上げ観測を受けて資金流出懸念が広がり、3日ぶりに反落した。今週は16日に7-9月期の GDP が発表される予定。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。